

4-③ こんな時、わたしなら・・・

■対象：乳幼児～中学生の親

■時間：70分程度

■手法：エピソード

学習のねらい 日常の中で親子のイライラが高まってしまったエピソードを聞き、その事例について考え、話し合い、自分を振り返ることで、子どもとのかかわりを考える。
準備するもの 性格カード(P103～112) 筆記用具 ワークシート 時計(ストップウォッチ)

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、あるエピソードを聞いていただき、子どもとのかかわり方について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。 その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
13分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①バースデーチェーン（親学プログラムP100） （グループ分け） ②自己紹介（性格カードを使って）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①で、4人組を作る。 ・グループ分けのあと、簡単に自己紹介をしてもらう。 	性格カード
45分	<p style="text-align: center;">《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>①エピソードを聞く ②ワーク1に個人で記入する ③グループで意見交換する ④ワーク2に個人で記入する ⑤グループで意見交換する ⑥グループで話し合ったことを代表者が発表する ⑦ワーク3を個人で考える ⑧まとめ</p> <p>エピソードは、登場する子どもの年齢に合わせ4種類用意しており、参加者の実態に合わせ、選んで実施する。 エピソード1・・・乳児を中心として（乳児、3才、4才） エピソード2・・・幼児を中心として（乳児、4才） エピソード3・・・小学校低学年を中心として（3才、小2） エピソード4・・・小学校高学年～中学生を中心として（小5、中2）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク1・2は、エピソードの母親の気持ちに寄り添って考えるよう伝える。 ・グループに寄り添い、どのような話し合いがされているか把握に努める。 ・簡単に発表することを伝える。 ・ワーク3の項目をチェックすることで、普段の子どもへのかかわり方を振り返ってもらう。 ・ワーク3は、あくまで個人の振り返りとして実施する。 	ワークシート 筆記用具
10分	<p>【振り返りと分かち合い】</p> <p>①感想をワーク4に記入する ②グループで振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の子育ての意欲づけにつなげる。 	
2分	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか？ エピソードに出てきたお母さんは、いろいろな想いの中で、ついカッとなって手を上げてしまったのかもしれませんが。私たちもこのような経験があるのではないのでしょうか。このようなことが続けば親も子どもも深い傷を負うことになりかねません。子どもへのかかわり方に正解はないと思います。時に悩み、失敗もあるとは思いますが、今日のように、相談したり振り返ったりしながら、イライラの解消法など、話し合える地域になるとよいですね。</p> <p style="text-align: center;">《講座の最後にルールとマナーを確認しましょう》</p>		

4-③ こんな時、わたしなら・・・

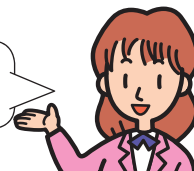
① エピソードを聞く（4分）



ワークシートを配ります。
ワークシートには、エピソードが書かれています。内容は、あるお母さんからの子育てに関する相談です。今から読んでみます。みなさんなら、このお母さんにどのように話しますか。考えながら聴いてください。それでは読みます。

② ワーク1に個人で記入する（5分）

エピソードの中で相談してきたお母さんが困っているのはどんなことでしょうか。ワーク1に記入してください。5分でお願いします。



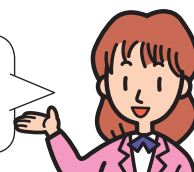
③ グループで意見交換する（10分）



では、グループの他の方の考えを聞いてみましょう。
まずワーク1に書いたことを紹介してください。全員の紹介が終わったら、感じたことや気づいたこと、他の人に聞いてみたいことなど、自由に話し合ってください。時間は10分です。

④ ワーク2に個人で記入する（5分）

次に、ワーク2をご覧ください。
エピソードの中で相談してきたお母さんに、あなたなら、どのように話しますか。ワークシートに記入してください。5分でお願いします。



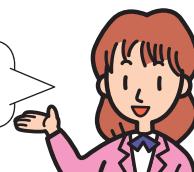
⑤ グループで意見交換する（10分）



では、グループの他の方の考えを聞いてみましょう。
まずワーク2に書いたことを紹介してください。全員の紹介が終わったら、感じたことや気づいたこと、他の人に聞いてみたいことなど、自由に話し合ってください。
時間は10分です。後で、グループの代表の方に話し合いの様子を発表していただきますので、代表者も決めておいてください。

⑥ グループで話し合ったことを代表者が発表する（8分）

時間になりましたので、グループでの話し合いの様子を代表の方に発表していただきます。
一番盛り上がった話題について1グループ1分程度で簡単に紹介をお願いします。



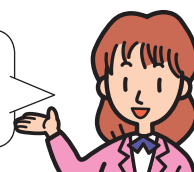
⑦ ワーク3を個人で考える（2分）



もう1枚、ワークシートを配ります。
ワーク3をご覧ください。ご自身の子育てについてふり返ってみましょう。自分に当てはまることがあれば、チェックをつけてください。これは、発表したり見せ合ったりはしません。書かずに心の中でチェックされてもかまいません。1分でお願いします。

⑧ まとめ（1分）

いかがでしたか。
みなさんにも当てはまることがありましたでしょうか？
それでは、今日の学習をふり返って、感じたことや気づいたことをワーク4に書きましょう。



4-③「こんな時、わたしなら…」ワークシート1

こんな時、わたしなら…

エピソード 1

これからお話しするエピソードは、ある母親から、子育てに関して相談を受けた時の内容です。

我が家には、4才、3才、生後6ヶ月の3人の男の子がいます。次男が生まれた頃までは、忙しい中にもまだ余裕があり、子育ても楽しみながら暮らしていたように思います。しかし、近頃では長男・次男はけんかばかりして言うことをきかなくなってきた上に、三男は泣いたりぐずったりすることが多く、とにかく手がかかります。

先日も、こんなことがありました。

今日も三男は調子が悪く、朝からぐずっていました。お昼過ぎになって、ようやく寝付いてくれました。そんなときに、また、長男・次男のけんかが始まりました。

今日こそは、きちんと仲直りをさせようと思い、取っ組み合っている2人を引き離し、何があったか2人に尋ねました。

次男が言うには、長男のおもちゃをちょっと触ったら、飛びかかってきたそうです。長男にも言い分があるだろうと聞こうとした時に、三男が起きてしまい、泣き始めました。

泣き声で、長男の話が聞き取れません。もう一度話すように大きな声で言うと、長男は自分がしかられたと勘違いし、泣き出してしまいました。優しく声がけしようと思うのですが、三男の泣き声がうるさくて、うまく伝わりません。泣き止まないの、三男を揺すったり、口を手でふさいだりしたら、余計に泣き出しました。

上の2人は、言って聞かせれば分かってくれるのに、と思うのですが、三男に振り回されて、思うように子育てが出来ません。

三男を何とか落ち着けようと思い、つい手が出てしまうことがあるのですが、どうしたらよいでしょうか。

※このエピソードは、フィクションです。

ワーク1 登場するお母さんが困っているのは、どんなことでしょうか。

ワーク2 相談してきたお母さんに、あなたならどのように話しますか。

4-③「こんな時、わたしなら…」ワークシート1

こんな時、わたしなら・・・

エピソード 2

これからお話しするエピソードは、ある母親から、子育てに関して相談を受けた時の内容です。

我が家には、4才になった女の子（A子）と、今年生まれた3ヶ月の男の子がいます。A子には、お姉ちゃんになったのだから弟の面倒をみてほしいのですが、弟が泣いていても知らん顔で、かえって、そんなときに「お母さん、見て見て」と言って、私の気を引こうとすることもあります。

先日も、こんなことがありました。

その日は、朝から弟が熱を出していました。A子は、1才になるまで、熱を出したことがなかったのですが、とても心配しました。取り急ぎA子も連れて3人で病院に行きました。風邪が流行っているのか、患者さんが多く、長い時間待たされました。お医者さんからは、薬を飲ませて安静にしておけば2・3日で良くなると言われ、病院を後にしました。時計を見ると13時を過ぎていました。

早く帰って弟を休ませたかったのですが、あわてて出かけ、昼食の用意もできなかったのですが、途中スーパーマーケットに寄って、食べるものを買って帰ることにしました。

すばやくA子の好きなものを買ってかごへ入れ、レジに行こうとした時でした。A子がお菓子売り場の前で、お菓子をねだって動こうとしなくなりました。私が注意すると、大きな声を出し、だだをこね始めました。

早く帰って弟を休ませたいし、まわりの人はじろじろ見るし、A子の好きなものを買ってやろうとしているのに、どうして言うことをきかないのか分からなく、

「そんな子は、うちの子じゃありません。勝手にしなさい」

と言って、A子とその場においてレジへ行きました。A子の大きな泣き声が店全体に響いていました。

こんなことがよくありますが、どうしたらよいでしょうか。

※このエピソードは、フィクションです。

ワーク1 登場するお母さんが困っているのは、どんなことでしょうか。

ワーク2 相談してきたお母さんに、あなたならどのように話しますか。

4-③「こんな時、わたしなら…」ワークシート1

こんな時、わたしなら…

エピソード 3

これからお話しするエピソードは、ある母親から、子育てに関して相談を受けた時の内容です。

我が家には、小学2年生の男の子（A男）と、3歳の女の子（B子）がいます。A男は、小学生になったのだから、自分のことは自分でしてほしいのですが、私に甘えているのか、なかなか自分のことができません。

先日も、こんなことがありました。その日は、妹B子の保育園の親子遠足の日で、私は、朝から弁当作りで大忙しでした。ふと気がつくと、A男が起きる時間なのに起きてきません。そこで、A男のまくら元に行き、「早く起きなさいよ」と声をかけました。

5分たっても起きてこないで、「何まだ寝てるの！遅れても知らないから！」と注意しました。

さらに、5分たっても起きないので、こんどは、「こらっ！いいかげんにしなさい！！」と言って、布団を引きはがしました。

やっと起きてきたのですが、今度は、だらだらして、なかなか着替えようとしません。いらだった私は、思わずA男のほほをたたいてしまいました。A男は、泣き出し、その様子を見ていた妹まで、泣き出しました。

こんなことがよくありますが、どうしたらよいでしょうか。
※このエピソードは、フィクションです。

ワーク1 登場するお母さんが困っているのは、どんなことでしょうか。

ワーク2 相談してきたお母さんに、あなたならどのように話しますか。

4-③「こんな時、わたしなら…」ワークシート1

こんな時、わたしなら・・・

エピソード 4

これからお話しするエピソードは、ある母親から、子育てに関して相談を受けた時の内容です。

我が家には、中2の娘と小5の息子がいます。娘は、だんだん親とは話さなくなり、特に父親とはほとんど口をきかなくなってきました。息子も、テレビやゲームに夢中になり、私の言うことさえ聞きもしなくなりました。

先日、こんなことがありました。普段仕事で帰りの遅い父親が、めずらしく早く6時過ぎに帰ってきました。子どもたちに「ただいま」と声をかけたのですが、息子はゲームに夢中で、娘は聞こえなかったふりをしていました。

その後、久しぶりに家族4人がそろっての夕食となりました。普段は、子どもたち2人で先に食べさせているので、息子はテレビを観ながらだったり、娘は友達からのメールの返信をしながらだったりしていました。今夜もこの調子で、2人がそれぞれ勝手なことをしていると、父親がいきなり声を荒げて怒り出しました。

それに対して、息子が、「いつもテレビを観ながら食べてるんだからいいじゃないか」と言い返すと、父親は、「うるさい」と言って息子を突き飛ばしました。それを見ていた娘は、「たまに早く帰ってきて、えらそうなこと言わないでよ」と言って、席を立ち自分の部屋に入ってしまった。

父親は、拳を握りしめ、怒りが爆発寸前でした。

私は、ただぼう然として、何も出来ずにいました。

こんなことがまたあったらと思うと恐ろしくなってしまいます。

いったいどうしたらよいのでしょうか。

※このエピソードは、フィクションです。

ワーク1 登場するお母さんが困っているのは、どんなことでしょうか。

ワーク2 相談してきたお母さんに、あなたならどのように話しますか。

4-③「こんな時、わたしなら…」ワークシート2

ワーク3 自分の子育てについて振り返ってみましょう。自分に当てはまることがありますか。

① 子どもをしかっていると感じ的になり、乱暴な口調になる	
② 子どもが言うことをきかないと、手が出てしまう	
③ 同じことをしているのに、しかる時としからない時がある	
④ 自分がイライラしていると、子どもに当たってしまう	
⑤ どこまでしつければよいのか、不安になる	
⑥ イライラした時の解消法がある	
⑦ 子育ての分担がある	
⑧ 子どもをしかりすぎたなあと反省することがある	
⑨ 子育てについて相談する相手がいる	
⑩ わが子のよいところを知っている	

ワーク4 今日の学習で感じたこと、気づいたことを書きましょう。

